

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年12月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2021年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年12月度ギャラクシー賞月間賞

**NHKスペシャル「コロナ危機 女性にいま何が」**

12月5日放送 21:00~21:50 日本放送協会

コロナ禍は女性により厳しくの影響していることは数字でも示されるが、日常生活の崩壊は外からなかなか見えにくい。子どもを抱え仕事を失い追いつめられる女性たちの実態と構造的な問題を直視した静かな告発だ。

**バリバラ Baribara×BURAKU「ブラクとの出会い方」**

12月10日放送 20:00~20:30 日本放送協会

「BLACK IN BURAKU」の放送から1年。その間に寄せられた多くの意見や疑問にこたえつつ新たな提起を試みた。それまでのさまざまな立場を含みつつ、部落問題はいまどう捉えられているのかをまず明らかにした。多様な立場に立てるバラエティという形式だからこその表現だった。

**土曜ドラマ「ノースライト」**

12月12日、19日放送 21:00~22:15 日本放送協会 ロボット NHKエンタープライズ

「あなたが住みたい家を建ててください」という奇妙な依頼で建てた信濃追分の一軒家。主人公の建築家が訪ねてみると、そこには依頼主が住んだ形跡はなく空き家だった。依頼主をめぐるミステリー、主人公の幼少期、設計コンペでの贈賄が疑われた友人など、複雑なエピソードを全2回でまとめ切った制作陣の力量を評価したい。

**木ドラ25「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」**

10月8日~12月24日放送 25:00~25:30

テレビ東京 大映テレビ 「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」製作委員会

放送開始後からのネット配信で海外からも熱い支持を受け、世界各国で配信されるに至った話題作。繊細な人間愛と優しさに溢れたストーリー、出演者たちの魅力により、SNSでも国内外で盛り上がりを見せ、ドラマ満足度も連続1位を独走した。制作側も想定外の大化けぶりだったが、見れば納得の作品である。